|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 学習編 | | | | |
| ４月 | １．楷書の書き方を確かめよう | | | |
| 漢字の筆使い (教科書P10-11)  ◎点画の種類を確かめ，漢字の筆使いに注意して楷書で書くことができる。［知技(3)エ(ア)，(1)イ］ | 毛筆  ２ | １ 漢字を構成する点画の名称を教科書に書き込む。  ２ 漢字の筆使いのポイントを教科書に書き込む。  ３ ｢学習の窓」を見て，漢字の筆使いのポイントを確かめる。  ４ 漢字の筆使いを意識して，毛筆で「地球」を書く。  ５ 毛筆で学習したことを生かして，硬筆で「地球」｢探究」「現代」を書く。 | 【知】点画の種類を確かめ，漢字の筆使いに注意して書いている。  【思】（毛筆で「地球」を書くなかで，漢字の筆使いを確かめている。）  【態】進んで(①)漢字の筆使いに注意し(③)，学習課題に沿って(②)「地球」を書こうとしている(④)。 |
| ５月 | 漢字の字形 (教科書P12-13)  ◎字形の整え方を理解して，楷書で書くことができる。［知技(3)エ(ア)，(1)イ］ | 硬筆  １ | １ 硬筆で「青葉」の試し書きをする。  ２ 字形を整えて書くポイントを教科書に書き込む。  ３ 字形を整えて書くポイントを意識して，硬筆で｢青葉」のまとめ書きをする。  ４ 試し書きとまとめ書きを比較し，字形を整えるという観点で向上した点を確認する。  ５ ｢学習の窓」を見て，漢字の字形を整えて書くためのポイントを確かめる。  ６ 字形を整えて書くポイントを意識して，教科書P13上段の漢字を硬筆で書き込む。  ７ 教科書P13下段の漢字の部分の筆順を確かめ，硬筆で書き込む。 | 【知】字形の整え方を理解して，楷書で書いている。  【思】（硬筆で漢字を書くなかで，字形の整え方を確かめている。）  【態】進んで(①)字形の整え方を確かめ(③)，小学校での学習を生かしながら(②)楷書で書こうとしている(④)。 |
| ２．楷書に仮名を交えて書こう | | | |
| 平仮名の筆使いと字形  (教科書P14-15)  ◎楷書に調和する仮名の筆使いや字形に注意して，整えて書くことができる。［知技(3)ア・エ(ア)］ | 毛筆  ２ | １ ｢いろは歌」や平仮名の成立について理解する。  ２ ｢学習の窓」を見て，平仮名の筆使いと字形のポイントを確かめる。  ３ ｢結び」の書き方の違いを確かめる。  ４ 墨のすり方を確かめる。  ５ 平仮名の筆使いや字形を意識して，小筆で「いろは歌」を書く。 | 【知】楷書に調和する仮名の筆使いや字形に注意して，整えて書いている。  【思】（小筆で「いろは歌」を書くなかで，楷書に調和する仮名の筆使いや字形を確かめている。）  【態】積極的に(①) 楷書に調和する仮名の筆使いや字形に注意して (③)，学習課題に沿って(②)「いろは歌」を書こうとしている(④)。 |
| ６月 |
| 文字の大きさと配列  (教科書P16-17)  ◎文字の大きさ，配列などについて理解して，楷書と楷書に調和する仮名で書くことができる。［知技(3)ア・エ(ア)，(1)イ］ | 毛筆  ２ | １ 文や文章を読みやすく書くポイントを教科書に書き込む。  ２ ｢学習の窓」を見て，文や文章を読みやすく書くための，文字の大きさや配列のポイントを確かめる。  ３ 文字の大きさや配列，用紙に対する文字の大きさを意識して，小筆で俳句を書く。 | 【知】文字の大きさ，配列などについて理解して，楷書と楷書に調和する仮名で書いている。  【思】（決められたサイズの用紙に俳句を書くなかで，文字の大きさ，配列などを確かめている。）  【態】進んで(①)用紙に合った文字の大きさ，配列などについて考え(③)，学習課題に沿って(②)小筆で俳句を書こうとしている(④)。 |
| ７月 | 楷書と仮名のまとめ  (教科書P18-19)  ◎今までに学習した知識・技能を生かして書くことができる。［知技(3)エ(ア)，(1)イ］ | 硬筆  １ | １ これまでに学習したこと（楷書の筆使いと字形／平仮名の筆使いと字形／文字の大きさと配列）を意識して，硬筆で「海鳥がいる。……」の試し書きをする。  ２ 試し書きと教材文字を比較し，これまでに学習したことを意識して書くことができたか振り返る。  ３ 横書きの書き方と，速く書くときの「許容される書き方」，片仮名の筆使いを確かめる。  ４ これまでに学習したことと横書きの書き方，片仮名の筆使いを意識して，「シダ植物の特徴」を硬筆で書く。 | 【知】今までに学習した知識・技能を生かして書いている。  【思】（縦書きと横書きで文章を書くなかで，今までに学習した知識・技能の生かし方を考えている。）  【態】進んで(①)習得した知識・技能を振り返り(③)，今までの学習を生かして(②)縦書きと横書きで文章を書こうとしている(④)。 |
| [コラム]文字の歴史を探る  (教科書P20-21)  ◎漢字の書体の変遷や仮名の成立について理解することができる。［知技(3)エ(ア)・(イ)］ | 知識  １ | １ 漢字には3000年以上の歴史があり，時代とともにさまざまな書体が誕生したことを知る。  ２ 日本独自の文字である仮名が，漢字を元にして誕生したことを知る。 | 【知】漢字の書体の変遷や仮名の成立について理解している。  【思】（コラムを読むなかで，文字の歴史を確かめている。）  【態】積極的に(①)文字の歴史を知ろうとし(③)，学習課題に沿って(②) 漢字の書体の変遷や仮名の成立に関する知識を得ようとしている(④)。 |
| ９月 | ３．行書の書き方を学ぼう | | | |
| 行書の特徴 (教科書P22-25)  ◎漢字の行書の特徴を理解することができる。［知技(3)エ(イ)，Ａ(1)オ(2)イ］ | 毛筆  ２ | １ 楷書と行書で書かれた「緑」を比較して違いを見つけ，話し合う。  ２ 楷書と行書で書かれた「緑」を指でなぞり，筆使いの違いを感じ取る。  ３ ｢学習の窓」を見て，行書の特徴を確かめる。  ４ 楷書と行書の「横画」を毛筆で書き，筆使いの違いを理解する。  ５ 行書の特徴を意識して，硬筆の「緑」をなぞり書きする。 | 【知】漢字の行書の特徴を理解している。  【思】（楷書と行書を比較し，行書で書かれた「緑」をなぞるなかで，行書の特徴を確かめている。）  【態】積極的に(①)楷書と行書の違いを考え(③)，学習課題に沿って(②)行書の特徴を話し合おうとしている(④)。 |
| 10月 | 点画の方向や形の変化  (教科書P26-27)  ◎漢字の行書の基礎的な書き方(点画の方向や形の変化）を理解して，身近な文字を書くことができる。［知技(3)エ(イ)，(1)イ］ | 毛筆  ３ | １ 楷書と行書で書かれた「木立」を比較して，点画の方向や形の違いを見つけ，話し合う。  ２ 行書で書かれた「木立」の点線をなぞり，点画の方向や形が楷書と異なる理由を話し合う。  ３ ｢木」「立」を構成する点画の方向や形の変化を確認し，同じ点画を含む他の漢字を硬筆でなぞる。  ４ ｢学習の窓」を見て，点画の方向や形が変化する理由と，主な変化のしかたを確かめる。  ５ 点画の方向や形の変化を意識して，毛筆で「木立」を書く。  ６ 毛筆で学習したことを生かして，硬筆で「木立」｢天文」「水分」を書く。 | 【知】漢字の行書の基礎的な書き方（点画の方向や形の変化）を理解して，身近な文字を書いている。  【思】（毛筆で「木立」を書くなかで，行書の特徴＜点画の方向や形の変化＞を確かめている。）  【態】進んで(①)行書の書き方（点画の方向や形の変化）を理解し(③)，学習課題に沿って(②) 「木立」を書こうとしている(④)。 |
| 11月 | 点画の連続 (教科書P28-29)  ◎漢字の行書の基礎的な書き方(点画の連続）を理解して，身近な文字を書くことができる。［知技(3)エ(イ)，(1)イ］ | 毛筆  ３ | １ 楷書と行書で書かれた「月光」を比較して，点画が連続している部分を見つけ，話し合う。  ２ 連続させるときの留意点を確かめる。  ３ ｢月」「光」に見られる点画の連続を確認し，同じ種類の連続を含む他の漢字を硬筆でなぞる。  ４ ｢学習の窓」を見て，点画が連続する理由と，主な連続のしかたを確かめる。  ５ 点画の連続を意識して，毛筆で「月光」を書く。  ６ 毛筆で学習したことを生かして，硬筆で「月光」｢文庫」「規則」を書く。 | 【知】漢字の行書の基礎的な書き方（点画の連続）を理解して，身近な文字を書いている。  【思】（毛筆で「月光」を書くなかで，行書の特徴＜点画の連続＞を確かめている。）  【態】進んで(①)行書の書き方（点画の連続）を理解し(③)，学習課題に沿って(②) 「月光」を書こうとしている(④)。 |
| 12月 | 行書の練習１ (教科書P30-31)  ◎漢字の行書の書き方を理解して，読みやすく速く書くことができる。［知技(3)エ(イ)，(1)イ］ | 硬筆  ２ | １ 点画の種類や組み合わせによる点画の方向や形の変化，連続のしかたのパターンを覚え，その点画を含む漢字を硬筆でなぞる。  ２ 行書には多様な書き方があることを確かめる。  ３ 設問②の空欄に当てはまる漢字を選び，点画の方向や形の変化，連続のしかたに注意して硬筆で書き込む。 | 【知】漢字の行書の書き方を理解して，読みやすく速く書いている。  【思】（硬筆で行書を覚えるなかで，行書の書き方を確かめている。）  【態】積極的に(①)行書の書き方を覚えて(③)，今までの学習を生かしながら(②)①②の課題を書こうとしている(④)。 |
| １月  ２月  ３月 | [コラム]季節のしおり１  (教科書P32-33)  ◎今までに学習した知識・技能を生かして書くことができる。［知技(3)エ(ア)・(イ)］  ○季節にまつわる詩歌や言葉など，伝統的な言語文化を書いて味わうことができる。［知技(3)ア，(1)イ］ | 硬筆  １ | １ 季節にまつわる詩歌や言葉を音読して味わう。  ２ これまでに学習したこと（楷書の筆使いと字形／平仮名の筆使いと字形／行書の特徴／文字の大きさと配列）を意識して，楷書・平仮名，行書で書かれた季節の言葉を硬筆でなぞる。 | 【知】今までに学習した知識・技能を生かして書いている。  【思】（季節の言葉をなぞる活動のなかで，今までに学習した知識・技能の生かし方を考えている。）  【態】積極的に(①)習得した知識・技能を振り返り(③)，今までの学習を生かして(②)季節の言葉をなぞろうとしている(④)。 |